

外部専門機関とスムーズに連携するために

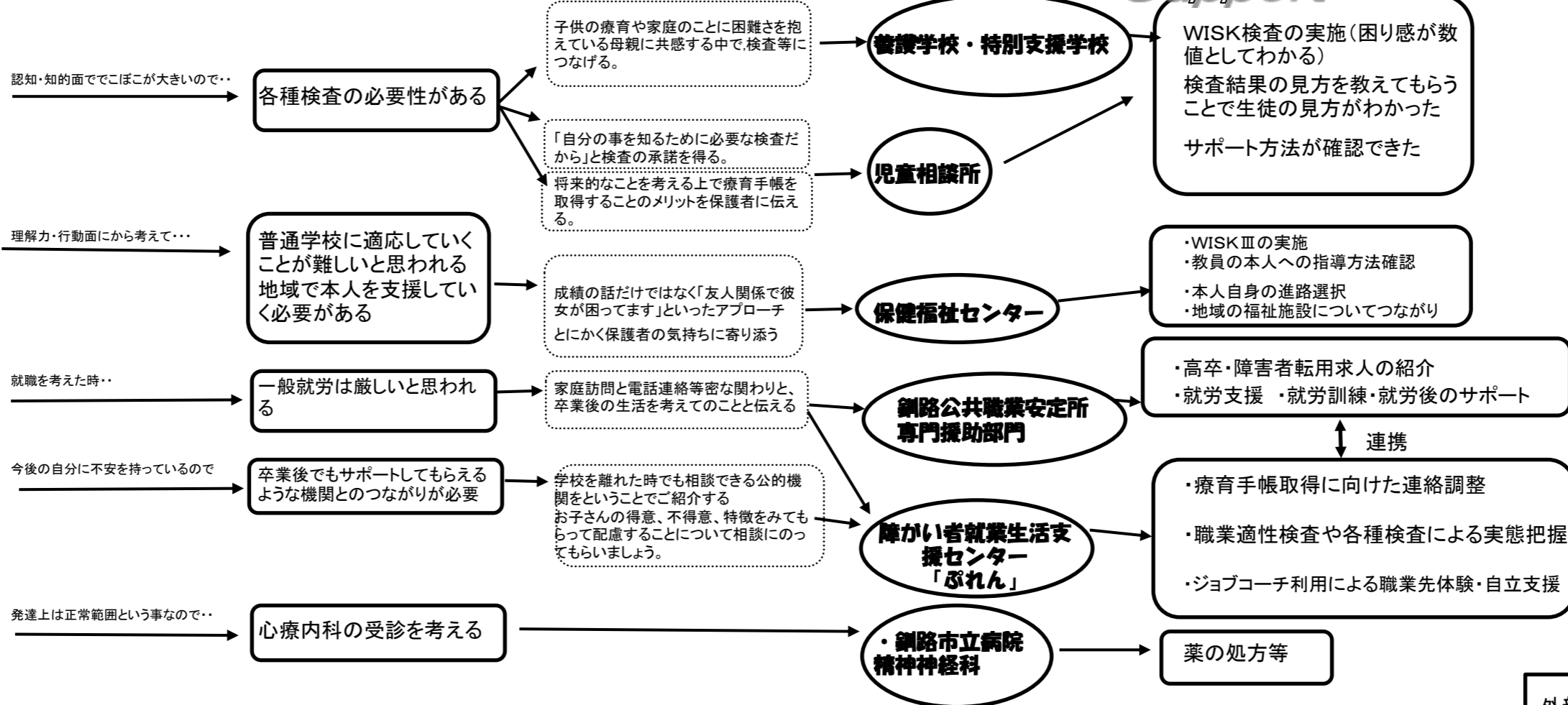
keyword

- ・特定の教科が極端に苦手
- ・言葉でのやりとり困難
- ・トラブルや非行事項が多い
- ・授業中にさわぐ
- ・理解力がない
- ・人との距離感を考えるのが難しい
- ・テストの点数がとれない
- ・先を見通す事が困難
- ・強いこだわりがある
- ・動作や作業に時間がかかる
- ・プリントの整理ができない
- ・身だしなみを整えることができない
- ・集中力が続かない
- ・気が散る
- ・情緒不安定

Plan

Action

Support



Check

外部機関には事前に学校側から生徒の様子や連携の必要性を伝えてから面談や検査につなげると連携がスムーズ。

SCやPTのアドバイスは貴重である。外部機関につなげる前に紹介やアドバイスをうけると良い。

釧路公共職業安定所(ハローワーク)では、難病指定の登録が勧められる。

・その他、障害福祉サービス提供事業所一覧を参考に、各種相談支援事業所に連絡すると相談にのってくれる。

外部機関からの助言を、学校全体で生かしていくための取り組み、継続しての学校と外部機関との連携・支援・対応が重要。

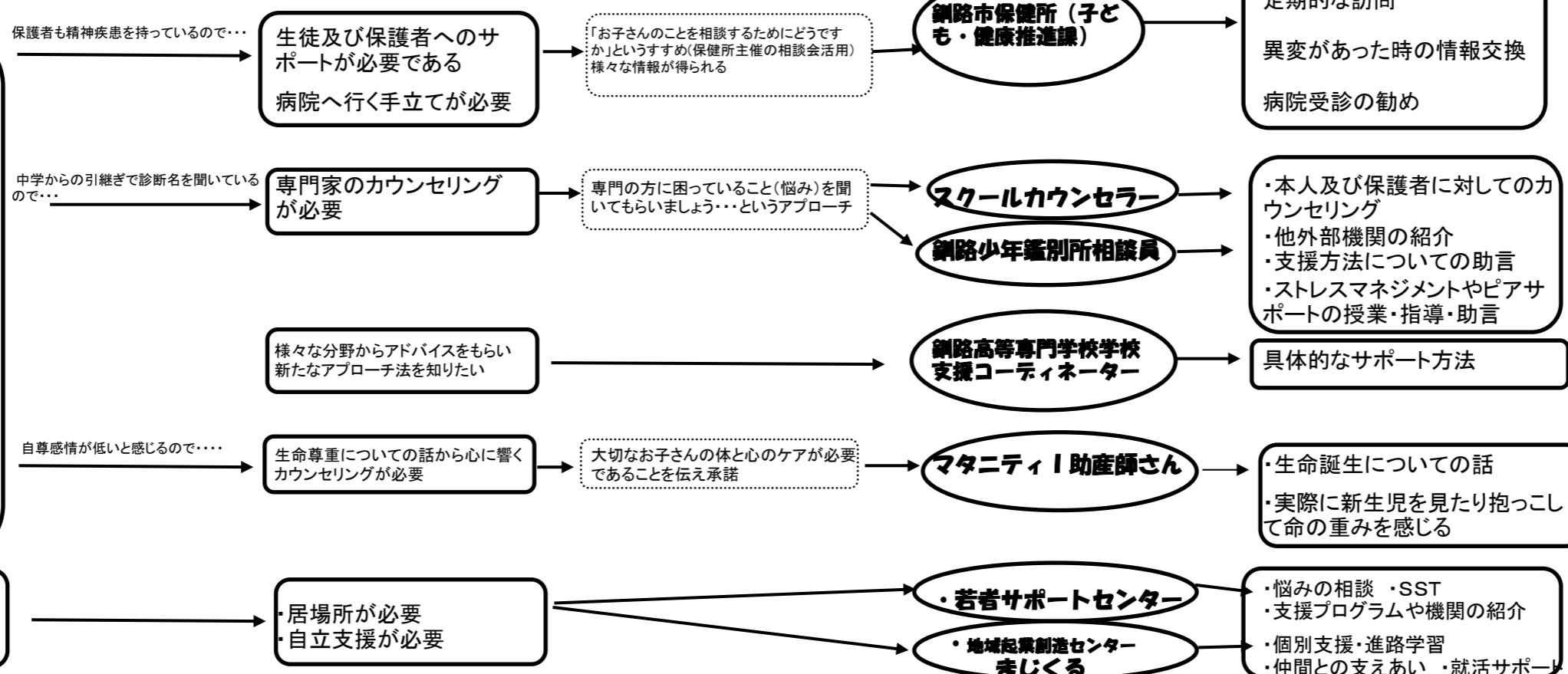
keyword

- ・自傷行為がみられる
- ・不登校気味
- ・教室に入れない
- ・体調不良が多い
- ・来室回数が多い
- ・精神状態が不安定
- ・自己表現が苦手
- ・感想文やレポートが苦手
- ・依存心が強い
- ・ゆがんだ恋愛感

Plan

Action

Support



Check

診療内科や精神神経科は予約待ちのことが多い。緊急性がある場合は診療科に直接連絡して事情を説明すると日程を配慮して頂ける場合がある。

SCは道の事業の場合継続が難しいことがあるのでSC活用タイミングを見極める必要がある。常に相談にのってもらえるようなつながりを持っておくと良い。